



Link

特定非営利活動法人 リンク

人がつながる 地域がつながる 社会がつながる

つながりたい かけがえのないあなたと



新年ごあいさつ



『続』と『信』

新年明けましておめでとうございます。

毎年、地域や関係機関の皆様のご理解とご協力で、当法人の活動が継続できていることに感謝申し上げます。また、当法人職員には、記憶力が著しく乏しく、忘れ物や忘れ事が多い私を温かく受け流し、そしてフォローしてくれているお蔭で、当法人が成り立っていると言っても過言ではなく、全職員に感謝しています。

当法人は「相談支援事業」・「障害福祉サービス事業」・「地域活動」等を行っていますが、約 8 割が委託事業や助成・補助事業であり、事業運営の基盤が十分に確保されているわけではありません。特に助成・補助事業においては、単年度事業がほとんどであり、食と居場所づくりやメンタルサポート事業は当法人が事業提案し開始したものも多く、「創る」ことは出来ていますが、「続ける」ことの難しさも同時に痛感しています。「人(協力者)」と「場所」「運営費」の確保ができる基盤をつくり、持続可能な活動としていけるよう取り組みたいと思っております。

また、私の 2026 年の私の一文字を『信』としました。昨年を振り返ると、マイナスの考え・イメージで過ごすことが多かったと感じています。人の悪い部分を見がちだったり、人に任せられず自分でやってしまうことが多くありました。それは、私個人だけでなく、関係者との会話でも、建設的な話より、批判的な話になってしまうことが多かったように感じます。自分や他者・物事を、信じることでより不安が大きくなり、心や時間などに「余裕・余白」がないことが大きな原因だと思っています。まずは、自分自身がゆとりを持ち、自分を取り巻く環境を広く感じられること、そして、様々なことに期待を込めて「信用(信頼)する」ことができるように努めたいと思います。“目の前の人の仕草やすべての人や関係機関から送られてくる“サイン”を見落とさずに大切に受けとめ、プラスの考え・プラスのチカラに変換していけるようになりたい”と、そんなことを考えながら一年間過ごしていきたいと思っております。

今後とも当法人の活動へのご理解とご協力をお願い致します。

(リンク理事長 吉井)



『あおいホーム』がオープンしました

ぼんぼらは開所して現在 5 年目を迎えています。11 月末現在の状況として、ホームは山武市に 1 棟、横芝光町に 2 棟あり、14 名の入居者が生活しています。入居者の年齢は、22 歳から 66 歳まで幅広い年齢層となっています。ホーム入居のきっかけが親亡き後の生活の場の確保だったこともあり、年齢が上の入居者の比率が高く、近年は身体の衰えが目立つ入居者が増え、階段や段差が危険となり生活の場を再考する必要がでてきました。そのため 4 棟目は平屋で段差を極力抑えたホームの建設を進め、12 月 1 日にオープンしたばかりです。あおいホームという名称で横芝光町に開所し定員 4 名です。窓が大きいので明るく開放的なリビングです。お茶を飲みながらおしゃべりしたり、テレビを観たりと自由な時間を過ごしていただけます。是非、見学にお立ち寄り下さい。また、他のホームに空きがあります。遠慮なくお問合せ下さい。(本田)



ホットつながるフォーラム

ホットステーション事業は今年で4年目を迎えました。千葉県のいたるところで「気軽に居てもいい」場所を増やすことをコンセプトに多くの協同機関様、地域の皆さまのご理解やご協力のもと活動を拡大してきました。現在は216件もの協力機関様にご登録をいただいております(11月末時点)

12月2日(火)山武合同庁舎にて「ほっとつながるフォーラム2025」が開催されました。基調講演では東京都豊島区の「としまベンチプロジェクト」の活動についてお話をいただき、パネルディスカッションでは協同機関の方より取り組みの紹介やホットステーション事業に参加して得られた変化について活発な意見交換をさせていただきました。また、当日は今年度のプロモーションビデオも公開されました。プロモーションビデオについては法人HP内「ホットステーション」の項目よりご覧いただくことができます。

これからも事業の周知を進め、誰もが住みよい地域づくりを皆さんと一緒に実現していけたらと考えております。様々な要素を兼ね備えるホットステーション事業ですが、皆様にとって無理のない範囲での活動を行い、いつしかホットステーションが「あることが当たり前の景色」となり地域へ浸透していく事を目指していきたいです。(大橋)



当日の様子

赤い羽根共同募金での購入品

2025年度の校内居場所づくりで2升炊き電気釜を購入させていただきました。九十九里高校・松尾高校などの校内居場所カフェ開催時、大量の炊き込みご飯を作り生徒の皆さんに大好評でした。

これからも温かいご飯で皆様の笑顔にしたいと思います。(中田)



フードバンクさんぶ

フードバンクさんぶの活動も3年目となりました。

今年は取引企業様の拡大および圏域の皆様のご協力、国からの支援(政府備蓄米)もいただき、回収量は去年の3倍を超えています。配布量も物価高の影響もあり去年の3倍となっています。去年はカスミ様とのお取引を開始しましたが、今年度はベイシア様とのお取引を開始し、たくさんの飲料や食品その他をいただいています。

また、千葉緑ロータリークラブ様より冷凍ストッカーを寄贈いただき、冷凍食品も取り扱えるようになりました。

皆様から頂いた食品は地域の生活困窮者の方、生活保護の方、子ども食堂等で活用する他、高校居場所カフェ、山武圏域・千葉市緑区で開催されるイベント等へ配布しています。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(石井)



山武圏域子ども若者関係の活動

山武圏域では、子ども・若者を取り巻く環境が大きく変化し、支援ニーズもますます高まっています。私たちは今年も、地域の皆さんと力を合わせながら、子どもたちの「安心できる居場所づくり」に取り組んできました。

「校内・校外居場所カフェの取り組み」（千葉県校内居場所づくり事業・共同募金助成事業活用）

従来から実施している県立高校3校での「校内居場所カフェ（松尾高校の MTO カフェ、九十九里高校のゆとりカフェ、東金高校の全日制と定時制）」に加え、今年度は新たに 校外居場所カフェ をスタートしました。横芝光町のまちなか広場えみふる新館を活用し、月2回、放課後に近隣の中高生が気軽に立ち寄れる場として開いています。



みんなでごはんを作って食べたり、ゲームで盛り上がったり、ゆったりおしゃべり 九十九里高校校内ゆとりカフェ
を楽しんだり…それぞれが思い思いに過ごし、友達とリラックスできる時間が生まれています。

校内居場所では、生徒たちと地域の大人が出会い、社会とつながる貴重なきっかけにもなっており、生徒同士、先生と生徒、そして地域の皆さんとの「つながる醍醐味」を感じています。（中田）

「子ども第三の居場所事業スマイルキッズ」

日本財団・B&G 財団の補助最終年となった今年も、スマイルキッズは子どもたちの笑顔と元気にあふれた一年でした。カヌー体験や社会科見学など、ワクワクするイベントもたくさん実施することができ、保護者の皆さまや地域の方々の温かいご協力に、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。（赤堀）



「山武事業所の『縁日ほのん』」（コープみらい くらしと地域づくり助成活用）

毎月第3土曜日に山武事業所で開催している「縁日ほのん」も、地域の子どもたちにだんだんと定着してきました。綿あめやポップコーンに加えて、軽食も楽しめるようになり、親子で参加される姿も増えています。笑顔が行き交うひとときが、私たちの大きな励みになっています。今後も、地域の皆さんとともに、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでまいります。（中田）



千葉市緑区「こどもカフェほのん」について

今年度より千葉市の「千葉市どこでもこどもカフェ事業」に法人登録を行い「こどもカフェほのん」を開催し始めました。「こどもカフェほのん」は、毎月第2金曜日の15:30～17:30に、地域の子どもが自宅、学校以外に気軽に立ち寄れる「居場所」を目指し緑区障害者基幹相談支援センター2階のサードスペースみらいをお借りして開設しています。地域のおとなに見守られながら、ひとりでもみんなでも自由に過ごせる場所として運営しています。10月には周知活動も兼ねてハロウィンパーティーを開催し、普段より多くのお子さまと親御さんにご利用いただきました。これからも安心安全な場所として、たくさんの方にご利用して頂きたいと思います。（大橋）



2025 年度第 2 回法人研修

2025 年 12 月 14 日（日）、第 2 回目の「法人全体研修」を行いました。35 名の職員が参加し、大変有意義な研修を行うことができました。

今回の研修テーマは、「福祉実践を振り返る」ということで、講師に、いちほら福祉ネット（社会福祉法人ききょう会）の大戸優子所長をお呼びして、市原圏域での取り組み、大戸講師が福祉実践で大事にしていること、福祉の仕事を志した経緯やこの仕事をしている現在までの大戸講師の人生をお話いただきました。改めて「人を信じること」について考えるご講義となりました。後半ではグループワーク等も実施し、意見交換（我々法人の理念、大戸講師の発表を聞いた感想等を述べ合う等）の場を作り、全体発表で共有を図りました。私たちがこれから現場の支援で活用できるヒントをたくさんいただきました。

来年度も 4 月、12 月に年 2 回法人職員全体研修を行う予定となっています。職員の皆様が有意義な時間であるように、研修委員会でも一生懸命考えて研修の企画をしますので来年度もどうぞよろしくお願いします。（小川）



2025 年新入職員紹介

2025 年 4 月～12 月に入職した職員 14 名です。前職の経験を踏まえた者、初めて福祉関係に関わる者様々ですが、宜しくお願いいたします。

さんネット：近藤 秀登・菊田 美智代

生活自立・仕事相談センター緑：三井 士郎・江澤 ゆき江

ぼんぼら：秋葉 誠一・手代木 興・秋葉 千春

スマイルキッズ：川村 聖徒・土屋 聡子・渡邊 咲希・菅野 光里・山口 佑歌

フードバンク：山本 由美子 事務：堀江 有紀



法人事務局・山武事業所

- 中核地域生活支援センター さんネット
- さんぶ生活相談センター リンクサポート（自立相談支援事業・家計改善支援事業）
- 就労準備支援事業 あいリンク ○障害者グループホーム等支援事業
- よろず相談センター めくもり ○障害者グループホーム ぼんぼら
- 日中一時支援事業 はれはれ ○フードバンクさんぶ その他



〒289-1345 山武市津辺 252-1

TEL：0475-77-7531（さんネット・めくもり・ぼんぼら・フードバンクさんぶ）

TEL：0475-77-7532（リンクサポート・あいリンク）

FAX：0475-77-7538

